

令和4年2月24日

保護者 各位

岡山県立東備支援学校
校長 梶谷 淳子

令和3年度学校評価 保護者アンケートの結果について（報告）

昨年実施した学校の教育活動に関する保護者アンケートでは、お忙しい中、ご回答くださ
いまして誠にありがとうございました。本年度の回答率は、小学部92.3%、中学部95.
2%、高等部78.9%、全体で86.3%でした。アンケートの集計結果を別紙のとおり
報告いたします。自由記述でいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、検討した回答を別
紙にてお知らせいたします。今後、ご意見をもとに、学校教育活動の充実を図ってまいりま
す。

今後とも、ご理解、ご支援をよろしく願いたします。

令和3年度学校評価アンケート項目

4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない

No.	評 価 内 容
1	学校は、教育目標や経営方針がよく分かるように説明している。
2	学校は、障害や発達に応じたきめ細かい指導や合理的配慮を行っている。
3	子どもは、学校に行くことを楽しんでいる。
4	学校は、一人一人に合った学習内容や教材を準備している。
5	学校は、体験的活動を多く取り入れている。
6	学校は、一人一人の実態に合わせて個別学習や集団での学習などを行っている。
7	教員は、情報を共有してチームで指導・支援を行っている。
8	学校は、様々な学校行事で子どもが力を発揮できる場面をつくっている。
9	学校は、進路や福祉サービスについて必要な情報を収集し、提供している。
10	教員は、一人一人の人権を尊重した指導や支援を行っている。
11	学校は、子どものプライバシーに配慮している。
12	学校は、健康管理や疾病予防、事故防止に取り組んでいる。
13	学校は、整理整頓や清掃ができています。
14	学校は、安全に学習や生活ができるように施設や設備を整備している。
15	教員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画で、課題や取組を明確に示している。
16	教員は、連絡帳や懇談等で指導経過や評価などを丁寧に説明している。
17	学校は、ホームページやSNS等を充実させ、学校の取組や行事案内など、内外への情報発信を積極的に行っている。
18	教員は、相談しやすく丁寧に対応している。
19	学校は、地域の資源（交流校や地域の人材、公共機関や施設など）を活用して、教育活動に取り組んでいる。
20	学校は、医療や福祉、労働などの関係諸機関と連携を図っている。
21	学校は、いじめ防止に努め、いじめ問題について適切に対応している。

令和3年度 学校評価アンケート報告書

岡山県立東備支援学校

1 アンケート回収率

回収率：保護者：全 86.3%

小：92.3%、中：95.2%、高：78.9%

※令和2年度：92.4%（小：97.4%、中：95.8%、高：87.5%）

※令和元年度：79.5%（小：94.7%、中：70.0%、高：74.1%）

教職員：小・中・高・事務職員 100%回収

2 高評価項目

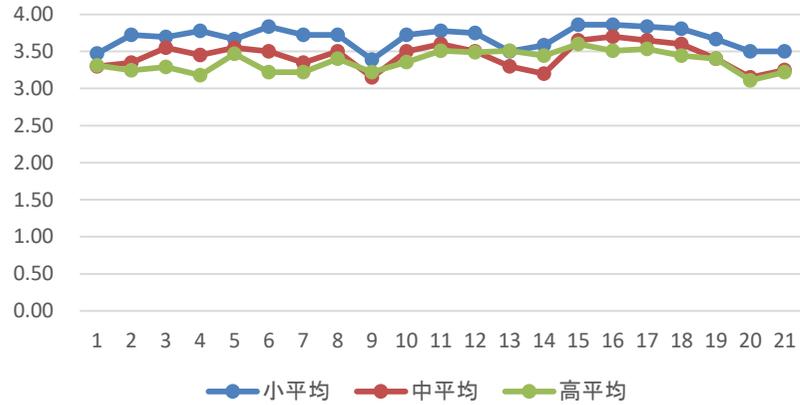
	保護者	教職員
1	⑮ 指導計画での課題の明確	⑰ 広報（情報発信）
2	⑯ 教員よりの説明	⑪ 個人情報の管理
3	⑰ 広報（情報発信）	⑥ 授業形態の工夫
4	⑪ 個人情報の管理	① 学校教育目標
5	⑱ 相談しやすく丁寧な対応	⑯ 保護者への説明
	※上位3項目はR2も同じような項目。 ※⑪個人情報の管理が向上。	※R2より、⑥学習形態の工夫、⑯保護者への説明が向上。

3 低評価項目

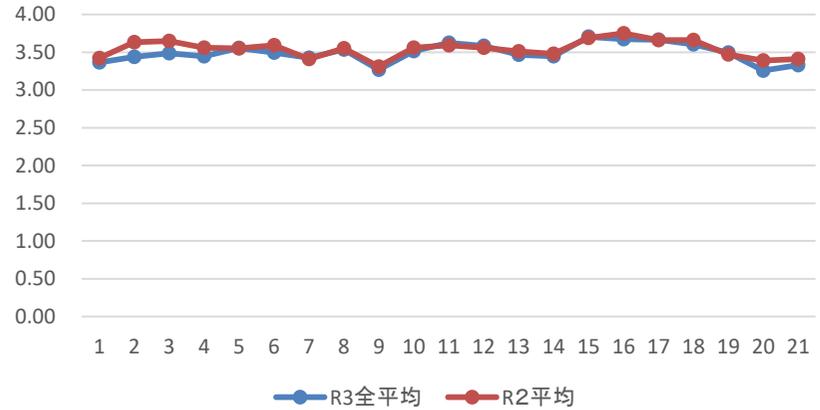
	保護者	教職員
1	⑳ 関係機関との連携	⑭ 施設・設備
2	⑨ 進路・福祉の情報提供	⑬ 環境
3	㉑ いじめ防止	⑩ 人権教育
	※R2も同じような項目。	※⑩人権教育が下位に。

学校評価のグラフ

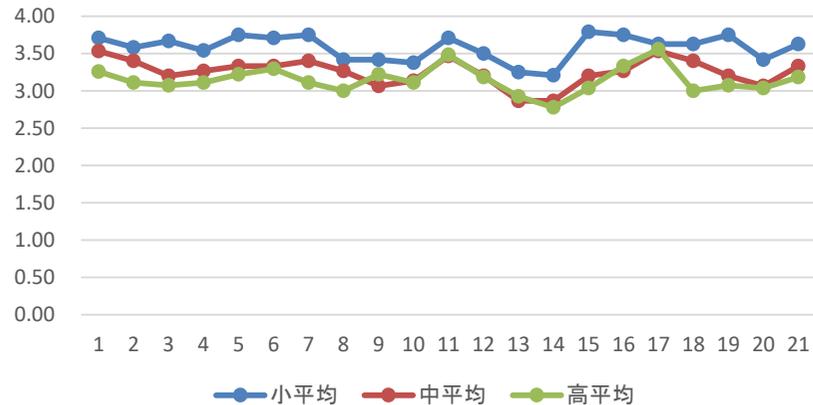
令和3年度学部別保護者評価



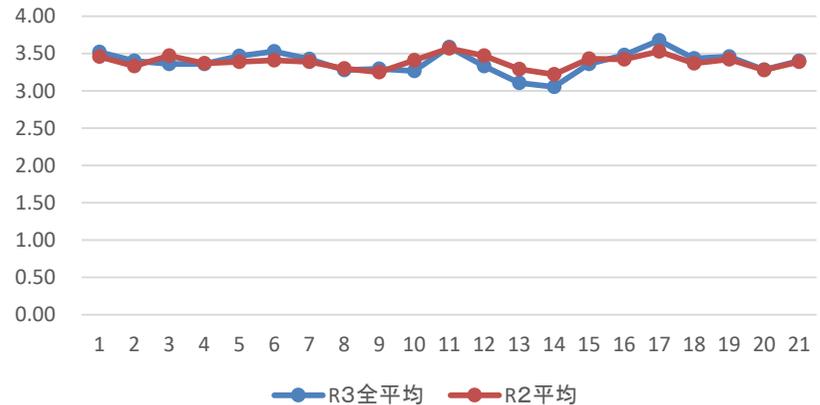
昨年度との保護者評価比較



令和3年度学部別教職員評価



昨年度との教職員評価比較



保護者の意見・回答

意見	回答
今現状に満足しています。	<p>保護者の皆様には、日頃から、学校教育にご理解ご協力を賜りありがとうございます。また、担任との信頼関係を築いてくださっていることに心から感謝します。</p> <p>これからも、開かれた学校としてわかりやすく情報提供していくよう努めてまいります。学校全体としての対応に至らない点があれば、いつでもご相談ください。今後も担任はもちろん、学校としても子どもたちのために努力していきます。</p>
先生方も一生懸命してくださってるので、感謝しています。	
いつもお世話になっております。子供のことで親身になって頂きありがとうございます。	
いつも安心して学校に行かせられます。先生の細やかな配慮のおかげです。	
いつも、細やかな支援をしていただいています。子供の特性に合わせての支援は嬉しく感謝していますが、保護者の偏った考えやワガママ、横着に先生方が振り回されているようでいたたまれない気持ちになります。子供の障害に対しては向き合ってほしいですが、保護者の好き勝手に付き合わないように、と感じます。	
学校がというよりは、先生方一人ひとりのお力がとても大きいと感じます。今までの担任の先生方は皆さまでも素晴らしく、熱心に対応してくださり、とても感謝しています。現場の先生の声が生きる学校であってほしいと思います。	
情報開示がしっかりできて、保護者と学校とが情報を共有できていれば、信頼関係が築けて、何か問題が生じても、困ったことにはならないと思うので、丁寧に説明していただけると、ありがたいです。	
教員間の情報共有をもっとしてほしいです。	<p>日々、教員間での情報共有を大切にしておりますが、十分に共有できていないと思われるところがあればお知らせください。今後、より一層確実に情報共有できるよう努めます。</p>
コロナ禍で行事等の実施が難しいかと思いますが、在学中に少しでも多くの知識や情報を得たいと考えているので、勉強会などがあれば嬉しいです。	<p>積極的なご意見ありがとうございます。参考までにいくつか本校で実施している研修をお伝えします。</p> <p>小学部の保護者を対象に、ひまわり教室を開催して、学期に1回ずつペアレントトレーニング等を実施しています。P T A研修では、事業所見学、進路講演会を行っています。また、あすにはばたく集いでは、講演（今年度は福祉防災）や事業所説明会があります。その他、手をつなぐ育成会や中四P連の研修等も随時ご紹介しています。</p> <p>研修内容についてご希望等あれば、P T A研修会等の参考させていただきますので、ぜひご意見をお寄せください。P T A活動にも積極的にご参加くださればありがたいです。</p>

<p>長期休み中のイベントなど、再開できたら、と思いましたが。</p>	<p>長期休業中の行事については、コロナ禍の状況をみながら、PTAの皆様と相談して検討していきます。</p> <p>体験的な学びについては、通常の学校教育の中でもねらいを考え計画していきます。</p>
<p>学校全体の専門性の向上や維持のために外部の専門家を必ず置いていただきたいです。(どの障害についても)</p>	<p>現在、学校にはPT(理学療法士)やST(言語聴覚士)などの専門家は配置されていません。教職員の専門性向上のために、年間を通じて様々な研修をしており、その中には児童生徒の様子に基づいて助言をいただくような内容もあります。今年度は、PTによる「発達の視点からの身体づくり」の研修、STによる言葉の指導の研修の他、教科指導や自閉症のスケジュールについて等の研修を行いました。また、臨床心理士であるスクールカウンセラーが定期的に相談を受けています。私たちが研修した成果を児童生徒の指導支援に活かせるよう、今後も研鑽を積んでまいります。</p>
<p>就学相談の窓口には、子どものアセスメントができる人を置いてほしいです。</p>	<p>就学先は、公的なアセスメント等に基づき、居住地の教育委員会での判断を受けて決定されます。本校では、就学までの流れや学びの場、本校の特色などについて説明し、就学先を考える参考にしていただいています。</p> <p>ご指摘の件は、本校での就学相談(入学後のための具体的な教育相談)のことでしょうか。相談の際は複数の教職員で対応し、その後校内でのケース会や在籍園との情報共有等をしておりますが、十分な対応に至らずご心配をおかけいたしました。お子様への適切な指導・支援のために、今後も何かありましたらいつでもご相談をいただければと思います。</p>
<p>必要な人には個別スペース等の合理的配慮が可能なように、生徒数の増加に合わせて校舎の増築等を検討していただきたいです。</p>	<p>本校の児童生徒数は、ここ数年微減しており、今後も大きな変動はない見通しです。現在、児童生徒数に対する教室数等の不足はありません。個々の児童生徒の実態によって個別の対応が必要なケースに対しては、教室内を仕切ったり、本人にわかりやすいよう構造化したりすることで対応しています。予算的な制限等がありますが、他の手立てとも合わせ、できるかぎり取り組んでいければと思っております。お子様の状態や学習状況等については、いつでもご相談ください。</p>

<p>高等部のバス利用について</p> <p>数年前に先生に相談したときは、スクールバスの座席が空いていて事情と希望があればほぼ乗れると聞いていました。先輩たちも沢山乗っていました。各家庭には事情があり、共働きやシングル家庭も多いと思います。子供の障害レベル、対応能力に安全に通学できるように無理なことはさせてほしくないと思いました。</p> <p>練習をきっかけにできるようになるかもしれないけれど、もし何かあったときは(事故や事件)どう対応してよいのか子供も親も混乱しそうです。まわりに不公平に思われるのであれば、スクールバスに乗車できる基準を作してほしい。乗れるのは重度以上や高等部は全員乗れないとか。</p>	<p>スクールバスの利用対象者は、基本的に小中学部の児童生徒です。ただし、座席に余裕があり、特別な理由がある場合には高等部の生徒も利用可能となっています。したがって、希望する方には利用許可願いを提出していただき、審査した上で乗車の可否を判断しています。</p> <p>自力での移動は、自立と社会参加のための大きな力となります。卒業後の豊かな生活につながるもので、自力通学を通じて在学中に身につけることができれば、本人の自信にもなります。障害特性やご家庭の事情等もあり、全員に自力通学を求めるものではありませんが、可能な限り挑戦してほしいと思います。高等部からだけではなく、小中学部の段階から少しずつ練習をしていくことが大切で、きまりを守ったスクールバスの利用もそのステップの一つと考えています。「うちの子は無理」と決めつけず、できそうなところがあれば、一部分だけでも練習してみませんか。</p> <p>練習方法や緊急時の対応についてなど、相談しながら進めていきましょう。できるかぎり協力いたします。</p>
<p>知的が重度な子供が安心して学校に通えるよう、自主通学のプレッシャーをあたえないでほしい。</p>	
<p>眼科検診について、以前実際見えているがCの切れている方向を口で言ったり、Cの模型?を同じ向きにする事が出来ず、見えていないと判断されてしまった事があります。</p> <p>もし可能であれば、小児眼科をされているような眼科さんにある絵を使った検査方法や、カメラのようなもので数秒撮るだけで斜視があるかないか判断できるものもあるみたいなので、そういったものを使って学校で検診してもらおう事が出来れば子供達にとっても負担が少なく検診が受けれるんじゃないかなあ~とったりします。</p>	<p>学校では、ランドルト環での視力検査の他に、文字や絵カードのマッチングなど、児童生徒の実態に合わせて様々な方法で視力検査を実施しています。</p> <p>高額な視覚カメラ機能の装置については、現在設置予定はありません。専門的な検診は、最寄りの医療機関でお願いしたいと思います。</p>
<p>一人一人個人差があり、いろんな障害を持った子供たちにあつたご指導をお願いします。</p>	<p>それぞれの児童生徒の実態や障害特性に応じて指導計画を立て、個別懇談等で確認の上、指導にあたっておりますが、内容や方法が実態に合わない等、お気づきのことがありましたら、いつでもご指摘ください。本人にとってよりよい指導・支援となるよう協力していきましょう。</p>